

# 余市町の文化財

余市町の歴史を肌で感じてみませんか



松浦武四郎「蝦夷日誌 四編」 北海道博物館蔵

Cultural Property Of Yoichi Town

余市水産博物館・旧下ヨイチ運上家

旧余市福原漁場・フゴッペ洞窟

西崎山環状列石・ニッカウエスキー(株)北海道工場

余市水産博物館 活動協力会

## 余市水産博物館

〒046-0011 余市町入舟町21  
TEL 0135-22-6187  
✉ moireyama@beach.ocn.ne.jp  
JR余市駅から北海道中央バス「余市役場前」  
下車徒歩10分 駐車場有

## 旧余市福原漁場

〒046-0021 余市町浜中町150  
TEL 0135-22-5600  
JR余市駅から北海道中央バス「浜中町」  
下車徒歩2分 駐車場有

## 旧下ヨイチ運上家

〒046-0011 余市町入舟町10  
TEL 0135-23-5915  
JR余市駅から北海道中央バス「余市役場前」  
下車徒歩10分 駐車場有

## フゴッペ洞窟

〒046-0001 余市町栄町87  
TEL 0135-22-6170  
JR余市駅から北海道中央バス「フゴッペ洞窟」  
下車徒歩1分 駐車場有

入館料 大人300円 小人100円

団体料金 大人240円 小人 80円

※団体料金は20名からです

共通入場券 大人960円 小人320円

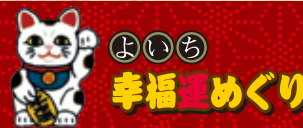
※上記の4施設を見学できます

※ニッカウエスキー(株)北海道工場と西崎山環状列石は無料です

開館時間 9:00~16:30 月曜休館  
冬期休館(12月中旬~4月上旬まで)

※月曜日が祝日の場合開館しています。祝日の翌日は休館です  
※ニッカウエスキー(株)北海道工場は9:00~17:00

お問い合わせは、余市水産博物館まで  
TEL 0135-22-6187



よいち  
幸福めぐり

①余市神社 ▶ ②幸田露伴句碑 ▶ ③福原漁場  
④運上家 ▶ ⑤三吉神社の順で巡ると  
「よい幸」「よい福」「よい運」の言葉が揃います

余市神社に  
スタンプ用紙  
があります



# 余市町の歴史を肌で感じてみませんか

## 余市水産博物館

縄文土器からアイヌ、ニシンまで

余市水産博物館は、モイレ山の頂上にある余市の歴史を学ぶことができる博物館です。  
館内には弁財船の三分の一の模倣、かつてのニシン漁具などのほか、アイヌ資料や余市町と会津藩の歴史に関する資料や、町内の遺跡から出土された考古資料を見ることが出来ます。



余市町まるごとつまっています



## 北海道指定史跡 西崎山環状列石

語りかける石、石、石…

西崎山環状列石は、丘陵上の広い範囲にわたって配石が見られる遺跡です。丸い河原石や角のある柱状の石を日時計型に配置していることが特徴的で、その周囲にも不規則に石が散在しています。  
遺跡からは縄文時代後期の土器片が出土しており、配石により周囲と墓域を区画した約三五〇〇年前のお墓であるという説が一般的です。



また、天気の良い日は日本海を一眺に見渡す景観もあわせて楽しむことができます。



縄文時代

## 国指定史跡 フゴツペ洞窟

壁面に残された刻画

フゴツペ洞窟は、今から二〇〇〇〜一五〇〇年前の続縄文時代の遺跡で、壁面に人物・動物・魚など約八〇〇点を数える刻画が描かれています。洞窟の利用方法にはいくつかの説が考えられていますが、仮装した人物像を何らかの願いや祈りをこめて岩に描き、儀式などを行っていたのではないかと説が有力です。国内でも小樽市の



続縄文時代

## 国指定史跡・同重要文化財 旧下ヨイチ運上家

現存する唯一の運上家建築

旧下ヨイチ運上家は、嘉永六（一八五三）年に改築した当時の図面をもとに復元されました。間口四〇m、奥行十六mあり、内部の空間は広く、板の間から見上げた柱や梁は太く見応えがあります。

運上家とは江戸時代、松前藩からアイヌの人々との交易を請け負った商人が拠点とした建物で、蝦夷地（北海道）の各地に建てられました。現在では旧下ヨイチ運上家が唯一現存する運上家建築として、国指定重要文化財となっています。



江戸時代

## 国指定史跡 旧余市福原漁場

これが明治のニシン漁場

北海道の日本海沿岸は昭和三十年代前半までニシン漁に沸きました。余市も海岸線に番屋や蔵などの漁場の建物が立ち並び、大変な賑わいでした。

旧余市福原漁場は、ニシン定置網漁を営んでいた福原家が明治十年代以降、明治三五（一九〇二）年まで所有した、当時の漁場経営の様子を伝える建物群です。親方家族と漁夫が一緒に住んだ主屋をはじめ、文書庫、石蔵、網倉、米味噌倉などを見ることが出来ます。



明治時代

## 国指定重要文化財 ニッカウキスキー株式会社

たちこめる夢のかおり

竹鶴政孝がウイスキーづくりの地を求め、昭和九（一九三四）年に「大日本果汁株式会社」を余市に設立。当初はリンゴジュースを販売していました。その後、昭和十五年にニッカウキスキー・ニッカブランド第二号が発売され、昭和二十七年に「ニッカウキスキー株式会社」へと名称が変更されます。

工場内の建物ではウイスキーの製造工程や歴史を学ぶことができます。蒸溜棟・乾燥塔・事務所棟などの十棟はウイスキーづくりの歴史を刻んだ建造物として重要文化財となっています。



昭和時代

**アイヌ語由来の土地名**

- レタルピラ…白い壁
- フゴツペ…波声高き処
- ヨイチ…蛇多く居る・温泉のある
- モイレ…静かである
- シリパ…山の頭
- エボシ岬
- ローソク岩
- 恵比寿・大黒岩
- シリパ



明治四（一八七二）年、開拓の決意を込めた御受書を開拓使へ提出し、会津藩士団は余市に入植しました。  
明治十二年、開拓使が道内各地に配った苗木のうち会津藩士が余市でリンゴの結実に成功し、リンゴは名産となっていくきます。

明治四（一八七二）年、開拓の決意を込めた御受書を開拓使へ提出し、会津藩士団は余市に入植しました。

